

## 令和5年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会 教育長祝辞

令和5年7月21日（金）  
ウエルピア伊予

本日は、令和5年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会が開催されますことを心からお喜び申し上げます。

皆様方には、日頃から本県教育行政の推進に格別の御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。各学校においては、コロナ禍で制限されてきた集団での活動が活発に行われるようになっておりますが、単にコロナ以前の姿に戻すのではなく、コロナ禍で再認識された学校の役割を踏まえるとともに、これまで培った知見や経験を生かし、創意工夫を重ねながら、新たな学びに挑戦することが重要であると考えますので、皆様方の御指導、御支援をよろしくお願いいたします。

さて、県では、本年3月、教育力の高さをもって、全国から評価され選ばれるような「教育で身を立てる県」となるべく、「愛顔あふれる『教育立県えひめ』の実現」を目指して、「第3期愛媛県教育振興に関する大綱」を策定しました。

県教育委員会においては、この大綱に掲げる振興方針を踏まえ、1人1台端末の効果的な活用や県独自のCBTシステム「EILS（エイリス）」の利用拡大を図り、更なる学力の向上と業務の効率化を目指すほか、不登校の未然防止と早期解消に向けて、新たにメタバースを活用した学びの場「メタサポキャンパス」を今月3日に開校するなど、個々の児童生徒に寄り添ったきめ細かな支援の充実に取り組んでいるところであり、市町教育委員会とも連携して、本県教育の一層の充実を図っていきたいと考えています。なお、この「メタサポキャンパス」は、今年度は、県の校内サポートルーム設置事業に取り組まれている7市の中学校で先行実施し、今後、順次拡大したいと考えています。

また、同じく本年3月に策定した「県立学校振興計画」につきましては、現在、統合・改編等を行う学校のまとまりごとに、市町教育委員会の皆様にも参画いただき設置した「準備委員会」において、教育方針や教育課程など、計画の具体化に向けた様々な検討を進めておりますほか、新校、新学科・コース等の設置に対応した環境整備にも取り組んでおり、計画の柱である「多彩で魅力的な選択肢の提供」「職業・学科横断的学習の展開」「進学指導の充実」の実現を通じた県立学校の魅力化に、全力で取り組んでまいりますので、引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。

さらに、教員の働き方改革と関連する大きな課題として、「部活動の地域移行」がございます。既に取り組みを進めていただいているところもありますが、県教育委員会としましても、県のガイドラインをできるだけ早く策定し、お示しいたしますとともに、県立高校等においても部活動改革に重点的に取り組んでいくこととしてまいりますので、子どもたちのスポーツ・文化芸術活動の機会確保の維持と教員の働き方改革の推

進に向け、取組みを進めていただきますようお願いいたします。

本日は、この後、愛媛大学大学院理工学研究科の森脇教授に「防災教育の重要性～水災害から命を守る～」と題して、御講演をいただきます。5年前の西日本豪雨災害では、学校施設のみならず、児童生徒の心身にも大きな傷跡を残しました。災害の記憶や教訓を風化させることなく、防災教育の重要性を再認識していただき、学校現場で活かしていただければ幸いに存じます。

終わりに、愛媛県市町教育委員会連合会の益々の御発展と、御出席の皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。